

会報

大会報告

平成 28 年度中部哲学会・研究大会ならびに総会は、9月17日(土)名古屋芸術大学を開催校として同大学東キャンパス1号館において開催され、参加者46名で盛会裏に終了いたしました。なお、大会ならびに総会の議事は次のとおりです。

◇大会プログラム

○個人研究発表

- 1) 言語学における構造主義的思考と現象学的還元の問題 名古屋大学大学院・ハス
- 2) 思考過程における認知プロセスとしてのメタファー 名古屋大学大学院・香春
- 3) 正しい仮説形成の原理と方法 名古屋大学・成瀬翔
- 4) ディルタイにおける生の哲学としての世界観学 名古屋大学大学院・辻春香
- 5) 『存在と時間』における不安と実存について 名古屋大学大学院・加藤皓士
- 6) なぜ『存在と時間』以後の真理概念は変容していったのか—1920年代後半におけるハイデガーの真理論研究— 名古屋大学大学院・森永駿
- 7) Moral Turing Test の限界 名古屋大学大学院・伊藤俊
- 8) ジョン・ヒックの人格の哲学—『信仰と知識』から『宗教の解釈』へ— ノッティンガム大学・橋田直樹
- 9) ウィリアム・ジェイムズにおける物心二元論の打破及び純粹建研の分化 京都大学・山根秀介

○シンポジウム「現代における対話の可能性」

- 1) 哲学対話の現代的意義—哲学に何が求められているか—九州国際大学・松井貴英
- 2) 科学技術の時代における対話の可能性 豊田工業高等専門学校・北野孝志
- 3) ICTがもたらすコミュニケーションの変容 名古屋大学・久木田水生
司会 信州大学・篠原成彦

◇総会議事

(議長 名古屋大学・金山弥平)

- 1) 一般報告 この1年間の会員移動について、入会者7名、退会者1名、現在の会員数は171名であることが報告された。
- 2) 来年度の開催校について岐阜大学を開催校とし、2017年9月16日(土)に同大学にて大会・総会が開催されることが提案され、承認された。
- 3) 委員の交代について 今年度、委員の交代は無し。

会員異動

◇平成 28 年度の新入会員の方々は次のとおりです。

- 辻春香
- 加藤皓士
- 橋田直樹
- 加藤弘典
- 山根秀介
- 伊藤俊
- 森永駿

◇平成 28 年度の退会者は以下の方々です。

- 美濃正

2016 年度中部哲学会役員

(任期：2015 年 4 月 1 日～2017 年 3 月 31 日)

委員長：金山弥平(名古屋大学)
委員：秋元ひろと(三重 三重大学) 三浦要(石川 金沢大学) 永井龍男(富山 富山大学) 柴田和宏(岐阜 岐阜大学) 鈴木貴之(愛知 南山大学) 吉田寛(静岡 静岡大学)
総務委員：久木田水生(名古屋大学)
総務補佐：奥田太郎(南山大学)
会計委員：宮原勇(名古屋大学)
出版委員：篠原成彦(長野 信州大学)
会計監査：別所良美(名古屋市立大学) 瀬口昌久(名古屋工業大学)

編集委員 (アイウエオ順)

委員長：金山弥平
委員：秋元ひろと、奥田太郎、久木田水生、篠原成彦、柴田和宏、鈴木貴之、永井龍男、三浦要、宮原勇、吉田寛

中部哲学会年報 第 49 号
2018 年 4 月 30 日発行
◎発行者 中部哲学会
(代表者 宮原勇)
◎編集
(出版委員 奥田太郎・松井貴英)
〒464-8673 名古屋市昭和区山里町 18
南山大学社会倫理研究所 奥田太郎
TEL052-837-3111
◎郵便振替 00860-2-38397
◎印刷所 名古屋大学消費生活協同組合印刷部